

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------------|----|---------------|
| ○事業所名 | 東京都立北療育医療センター城北分園 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年10月15日 | | ～ 2025年11月21日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 13 | (回答者数) 8 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年10月15日 | | ～ 2025年11月21日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 12 | (回答者数) 10 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 2025年10月15日 | | ～ 2025年11月21日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 13 | (回答者数) 11 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年2月19日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | | 利用者の状態や家族のニーズ、訪問先施設の環境に合わせた複数の専門職が訪問支援にあたり、幅広い相談・ニーズへも対応している。 | 各専門職など、利用者の個別支援内容を共有し、よりきめ細やかな支援の提案、助言ができるよう連携を図っていく。 |
| 2 | 外来リハビリと保育所等訪問支援を並行して実施している。保育園等での生活場面と専門的療育から発達を促す包括的支援を提供でき、かつ利用児の発達を促す相乗効果を生み出す体制を整えている。 | 外来リハビリで実施している内容を訪問先の環境に合わせて助言し、生活場面で利用児の成長を促す支援を行っている。同じ担当者が訪問先と連携することで、一貫した支援を提供している。 | 引き続き訪問先と連携を図りながら発達を促し、相乗効果が得られる支援を行う。 |
| 3 | 職員の質・専門性の向上を図る取組を行っている。 | 内部や外部での研修参加の機会が確保されており、積極的に参加している。研修後には報告書等で研修内容を共有できるよう、取組を行っている。 | より多くの職員が研修に参加できるよう、職場環境の整備を行っている。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 当事業所の特徴を打ち出した情報提供や、必要な人に情報が届くよう広報などの取り組みを一層進めていく。 | 広報媒体に限られており、必要な情報はホームページ、掲示等により発信している。利用者からは情報発信方法の工夫を求める意見が寄せられている。 | 発達支援の最新情報やイベント情報などを、公立施設として可能な範囲で積極的に発信し、広報の取り組みに努めていく。 |
| 2 | 支援の質を高め、業務改善を進めていくためにも、さらなるICTの活用及び職員への研修によるデジタル化を推進する。 | デジタル媒体への移行が進み、紙媒体は減少しているものの一定量は残っている。コストと時間の負担が大きい上、修正が難しく、情報量に制限があり、環境への影響も大きいといった課題がある。 | 令和6年度末に電子カルテ及び療育システムが導入された。引き続き東京都全体でICTの活用及び職員のICT教育の啓発及び実践を行っているところである。ICT媒体を活用し、業務の改善を進め、支援の質を高める取り組みを継続していく。 |